

# 感染症週報 (市内週報 平成21年第2週)

結核・感染症発生動向調査

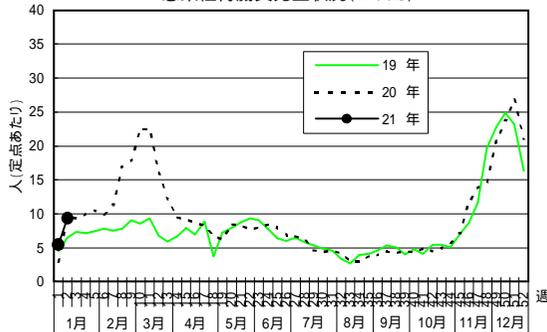
平成21年1月14日

平成21年第2週感染症発生状況【川崎市内】

平成21年1月5日～平成21年1月11日

5類感染症(定点把握疾患)	全数把握疾患	届 出	累計(平成21年第1週以降)
第2週で報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ、2)感染性胃腸炎、3)水痘の順となっています。 インフルエンザ報告数が増加し(報告数494件、定点あたり9.32)、過去5年平均の約2.7倍となっています。同時期の過去5年間の定点当りの報告数と比較すると、最も多くなっており、流行発生注意報基準値である定点あたり10に近い高いレベルとなっていますので、今後の発生動向には注意が必要です。	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 5件	結核 6件
	3類感染症	なし	なし
	4類感染症	なし	なし
	5類感染症	なし	麻しん 1件

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



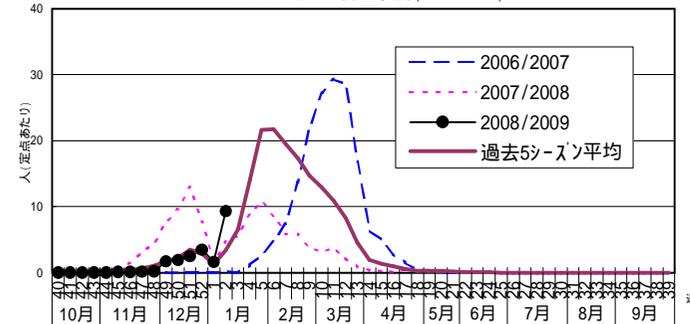
インフルエンザウイルス市内分離状況(累計はH20.10.1以降の累計)

期間	検体搬入数	検査結果				検査中
		陽性			陰性	
		Aソ連型	A香港型	B型		
1/5～1/11	18	6	3	0	0	21
累計	46	8	14	2	1	

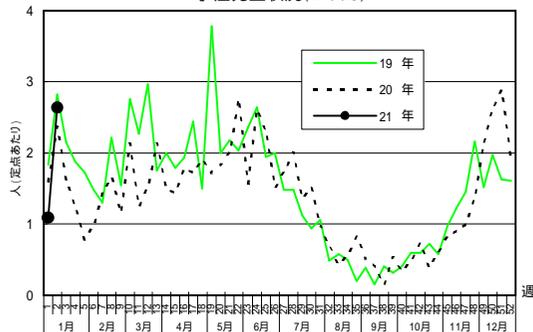
インフルエンザ警報の基準:「定点あたり30」以上の都道府県(第1週)  
なし

インフルエンザ注意報の基準:「定点あたり10」以上の都道府県(第1週)  
北海道、福島県、沖縄県

インフルエンザ発生状況(3シーズン)



水痘発生状況(3年間)



川崎市区別の麻しん発生状況(診断週別集計)



H21年麻しん年齢群別発生報告数(診断週で集計)

年齢	2週		累計	
	2週	累計	2週	累計
0歳	0	0	10～14歳	0
1歳	0	1(0)	15～19歳	0
2歳	0	0	20～24歳	0
3歳	0	0	25～29歳	0
4歳	0	0	30～39歳	0
5歳	0	0	40～49歳	0
6～7歳	0	0	50歳以上	0
8～9歳	0	0		

( )内の数字は予防接種歴有の人数







